

Cincinnati Children's Hospital Medical Center

山路 剛史

突然ですが、『オータム・イン・ニューヨーク』という映画を見たことはありますか？ ウィノナ・ライダー演じるシャーロットを救うべく、リチャード・ギア演じるウィルが、天才心臓外科医をオハイオ州クリーブランドから呼び寄せるのです。なぜボストンでもなく、ニューヨークでもなく、オハイオ州なのでしょう？ それは、オハイオ州には全米トップの心臓外科を有するクリーブランド・クリニックがあるからです。私は現在、このオハイオ州にあるシンシナティ市で研究をしています。残念ながら、シンシナティ市が映画に登場することは稀ですが、小児医療ならびにその基礎研究では世界的に有名な場所です。私が2年前にラボを構えたシンシナティ小児病院医療センター（Cincinnati Children's Hospital Medical Center：CCHMC）は全米第3位の小児医療センターです。年間予算は日本円にしておよそ3,000億円。東京大学の予算が2,400億円であることを考えると、その大きさを想像していただけるかと思います。

なぜCCHMCはこれほど大きくなり得たのでしょうか？ シンシナティ市は日本人には馴染みのない都市ですが、世界恐慌が起こる前まではアメリカ10大都市に名を連ねていました。現在でもシンシナティ経済圏の豊かさは全米トップクラスです。米国優良企業の目安として知られるフォーチュン500に入る7つの企業が本拠地を構えます。なかでも、プロクター・アン



写真1 筆者の研究室がある研究棟の外観

ド・ギャンブル（P&G）の経済的支援により、CCHMCは今日の発展を遂げました。1950年代には、アルバート・サビン博士がポリオウイルス生ワクチンを発明し、CCHMCの名を世界中に轟かせました。米国初のポリオ生ワクチン大規模接種がシンシナティ市で実施され、それが今日のポリオ99%根絶へと繋がっているのです。現在でも、大きなプロジェクトの裏には、地元企業からの資金援助があります。

現在CCHMCでは、隣のシンシナティ大学医学部と連携し、基礎から臨床まで幅広い研究領域に渡り、最新鋭の研究機器を駆使して研究に取り組む環境が整えられています。私の研究室を例に、基礎研究サイドからみたCCHMCについてご紹介しましょう。私の研究室ではコンピュータ解析や分子生物学、生化学、ヒトiPS細胞、マウス遺伝学的なアプローチを組み合わせる研究課題に取り組んでいます。結構なデータ量を取り扱いますが、コンピュータはノート型パソコンで十

Masashi Yamaji

Divisions of Reproductive Sciences and Human Genetics,
Cincinnati Children's Hospital Medical Center
Department of Pediatrics, University of Cincinnati College of Medicine
TEL : 513-803-8039
E-mail : Masashi.Yamaji@cchmc.org